

令和 3 年度
地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター
年度計画（案）（概要）

地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター

令和3年度 地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター年度計画（概要）

令和3年度計画のポイント

- 新型コロナウイルス感染症は、東京都の医療提供体制を逼迫させるまでに急速に感染拡大を続け、未だその収束は見通せない。
- 当センターは、東京都が設立した地方独立行政法人として、この緊急事態に対応していくことが最優先の課題であるものと認識し、東京都や板橋区、地域医療機関とも連携しながら対応を進めてきた。

令和3年度も引き続き、新型コロナウイルス感染症に対し、病院・研究・経営の各部門が一丸となった対応を実施していく。

【令和2年度までの新型コロナ感染症への対応状況】

東京都との連携

● 宿泊療養施設への職員派遣

- ・ 東京都の実施する新型コロナウイルス感染症の軽症者等の宿泊療養施設の運営に協力し、当センターから医師・看護師を派遣
- ・ 職員の派遣に伴い、一部の病棟を休止（令和3年3月2日現在 89床を休止）
- ・ 宿泊療養施設の後方支援病院として、症状が急変した患者の受け入れにも対応

● 新型コロナ陽性・疑い患者の受入れ

- ・ 「新型コロナウイルス感染症入院重点医療機関」及び「新型コロナウイルス感染症疑い患者受入協力医療機関」として、新型コロナ患者受入れのために陰圧個室10床(ICU 3床)を確保
- ・ 新型コロナ疑い救急患者の東京ルールに参画し、積極的に患者を受け入れるための体制を整備
- ・ 東京都の新型コロナ専門病院の稼働への協力として、当該病院からの患者の積極的な受け入れを実施

● PCR検査の実施

- ・ 東京都からの協力依頼に応じて、PCR検査を実施

地域との連携

● 連携検査外来の設置・運営

- ・ 板橋区の「地域外来・検査センター」として、区内の医療機関からの紹介患者に対するPCR検査を実施

● 重症症例への対応

- ・ 区西北部二次保健医療圏内の他病院での対応が困難な重症患者を受け入れ、体外式膜型人工肺（ECMO）を用いた高度医療を提供

● ワクチン接種体制への協力

- ・ 新型コロナウイルスワクチン接種の「基本型接種施設」（超低温冷凍庫を配置して接種を行う施設）として、センター職員のみならず、地域の医療従事者や地域住民への接種を実施する体制を構築

感染防止対策

● PCR検査体制の強化

- ・ センター研究所と病院部門との積極的な連携による高度遺伝子解析技術を応用したPCR検査の実施や、臨床検査科での全自動遺伝子解析装置を活用した、約1時間で結果が判明する迅速検査などにより、緊急入院も含めた患者の入院前のPCR検査によるスクリーニング実施体制を整備
- ・ センター内のPCR検査体制が強化されたことを活かし、職員に対するPCR検査も実施

● 感染対策用備品等の整備

- ・ 感染対策に必要な備品や設備については、現場責任者からの意見を踏まえて、センター幹部を含む経営部門で、国や自治体の補助金による財源の確保も含め、迅速・適切な対応を実施



《概要》

- これまで培ってきた膨大な臨床・研究データに、AIなど最先端技術を活用し、**新たな認知症予防の取組を推進**
- 都から受託している認知症支援推進センター等の事業推進を通じ、**人材育成や地域づくりなど共生にも貢献**

《事業内容》

(1) 東京健康長寿データベースの構築

- ・センターの保有する各種データを統合し、**オープンに活用可能なDBを構築**

R 3 年度目標

- ・DBの設計・構築作業の推進及びDBの試験運用実施、試験運用結果を踏まえた課題の解決

(2) メディカルゲノムセンター

- ・生体試料の保管・提供及びゲノム解析、低コスト・低侵襲な**体液バイオマーカーの開発**

R 3 年度目標

- ・統合バイオバンクの整備完了、前向き生体試料の蓄積開始
- ・サンプル計測を行う体液バイオマーカー候補の探索

(3) AI診断

- ・AIを活用した**画像診断システム及び自動会話プログラムの開発**

R 3 年度目標

- ・画像診断システムの試験稼働及び検証の実施
- ・チャットボットのプロトタイプの実証臨床トライアル及び課題抽出

(4) 地域コホート

- ・地域コホート研究データの統合活用及び認知症リスクチャートの作成

R 3 年度目標

- ・認知機能の変化、要介護認知症をアウトカムとした統合データの完成



【認知症未来社会創造センター（IRIDE）創設記者発表】



【IRIDEロゴマーク】

《概要》

- 医療・研究部門の知識と技術を統合的に活用し、**フレイルの評価に基づいた高齢者医療とフレイルでも快適に過ごせる社会の形成に貢献**

《事業内容》

①フレイルサポート医の育成

- ・医師会と連携し、**地域におけるフレイル対策をリードする医師を育成**
- ・R2年度は板橋区医師会の一部の医師を対象に**先駆的にフレイルサポート医研修を実施**

R 3 年度目標

- ・板橋区医師会の未受講医師に対するフレイルサポート医研修の実施
- ・他の医師会での実施に向けた検討

②地域との連携

- ・自治体や医師会と連携し、**介護予防・フレイル予防の取組を支援**

R 3 年度目標

- ・後期高齢者の質問票を活用し、保健事業と介護予防事業を一体化した取組が実施できるよう支援を実施



【フレイルサポート医研修】

③運動の対策

- ・フレイルに対する**運動指導の質の向上**

R 3 年度目標

- ・介護予防（主任）運動員にフレイル講習を追加し、フレイル予防も可能な運動指導員を育成

④栄養の対策

- ・フレイルに対する**栄養指導の質の向上**

R 3 年度目標

- ・東京都栄養士会と連携して研修会を実施し、フレイル予防公認栄養指導士を育成

⑤フレイル外来の機能強化

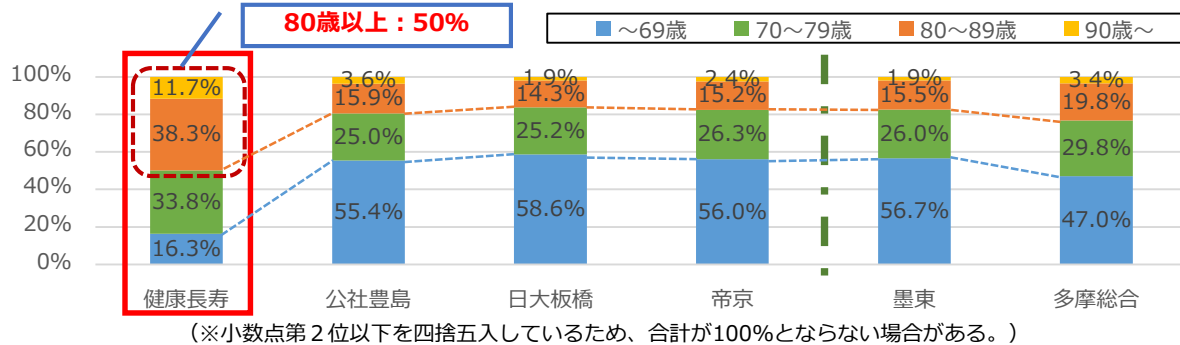
- ・外来の機能を拡張し、**フレイルの評価・対策を強化**

R 3 年度目標

- ・高齢診療科と連携して地域からのフレイル精査の患者を受入れ



【入院患者年齢構成の他病院との比較（※令和元年度DPC情報の公表数値より集計）】



○センターの入院患者の年齢構成は、80歳以上が5割、70歳以上が8割超となっている。
○一方、他病院では80歳以上は2割程度、70歳以上は4~5割となっており、センターの高齢患者の割合は他病院と比較しても非常に高い水準にある。

こうした状況を踏まえ、**高齢者の特性に合わせた最適な医療の提供**を実施していく。

【三つの重点医療を始めとする高齢者医療の充実】

(1) 血管病医療

- 全自動遺伝子解析装置を用いて新型コロナウイルス感染有無を迅速に確認し、適切な医療提供体制の下で、**コロナ禍にあっても**、東京都CCUネットワーク、急性大動脈スーパーネットワークへの参画医療機関及び脳卒中急性期医療機関Aとして、**急性期の血管病患者に対する治療を積極的に実施する。**
- 経カテーテル的大動脈弁置換術（TAVI/TAVR）を実施する**など、医療体制の更なる充実・強化に努める。
- 新型コロナウイルス感染症の重症患者に対し、**体外式膜型人工肺（ECMO）を活用した高度医療を提供する。**

(2) 高齢者がん医療

- 胃がん、大腸がんに対する腹腔鏡下手術、肺がん、食道がんに対する胸腔鏡下手術などを引き続き実施するとともに、肝がんについてはB型肝炎、C型肝炎のウイルス治療や経皮的ラジオ波焼灼術等、**高齢者に対して低侵襲な医療を提供する。**
- R2年度に更新した放射線治療システムを活用した**放射線治療や、化学療法などの手術以外のがん治療法を充実させ**、患者の状況や希望に合わせた医療を提供する。
- 診断期から今後の見通しを立てつつ治療・療養が実施できるように**アドバンストケアプランニングの支援を強化する。**

(3) 生活機能の維持・回復のための医療

- 高齢者特有の体重減少、めまいなどの症状を診る**高齢診療科とフレイル外来**が連携し、**高齢者QOLの向上**を目指した診療を行う。

(4) 医療の質の確保・向上

- 引き続き**看護師の特定行為研修への派遣を実施**し、看護の質の向上に貢献する。
- ECMO等が必要な重症症例への対応が可能な人材を育成し、**新型コロナウイルス感染症への対応を強化する。**

【地域医療の体制の確保】

(1) 救急医療

- 新型コロナ疑い救急患者の東京ルールに参画**しており、引き続き新型コロナ疑い救急患者の積極的な受け入れを進める。

(2) 地域連携の推進

- 東京都地域医療構想調整会議での議論等を踏まえ**、医療機関・介護施設等からの紹介受入の強化や、区西北部二次保健医療圏における災害拠点病院としての活動等を進める。
- 新型コロナウイルス感染症に対しては、**地域医療機関からの紹介患者に対する地域外来・検査センターでのPCR検査実施**や、**重症症例に対する医療提供**など地域医療機関と連携して対応する。
- 新型コロナウイルス感染症ワクチンの基本型接種施設**として、地域の医療従事者や住民に対するワクチン接種を実施する。



【全自動遺伝子解析装置】



【放射線治療システム】

Image courtesy of Varian Medical Systems, Inc. All rights reserved.



【地域外来・検査センター（連携検査外来）】



【高齢者に特有な疾患と老年症候群を克服するための研究】

- 健康長寿を損なうホルモン依存性がんにおける治療抵抗性メカニズムの解明を図る。
- 老化及び老化疾患に関連する糖鎖機能の解明を目指す。
- 認知症の克服を目指した脳の病態機能解明に役立つ画像診断薬を開発する。

【高齢者の地域での生活を支える研究】

- 地域の通いの場の概念整理と類型化を行い、その効果を評価するための枠組みを示す。
- 認知症フレンドリー社会の実現を目指す地域拠点の活動モデルを示し、認知症高齢者や一般住民を対象にその効果を多面的に評価する。
- 新型コロナウイルス感染症流行下が高齢者の生活に及ぼした影響を明らかにするとともに、フレイル予防・生活機能改善に向けた取組を進める。

【研究推進のための基盤強化と成果の還元】

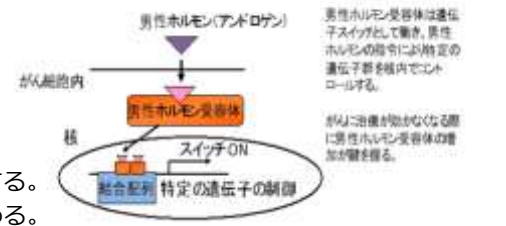
- センター全体の知財活動を奨励し、特許出願やライセンス契約等知財活用事例の増加を図り、企業等の共同研究を活性化していく。（特許新規出願件数目標…R2：5件⇒R3：7件）
- 認定臨床研究審査委員会（CRB）（令和2年度：先進医療Bの迅速審査が可能なCRBに厚労省から認定）を活用して、東京都関連の外部医療機関の研究審査・実施を適切に支援する。また、特定認定再生医療等委員会（再生医療CRB）を活用して、高齢者に適切な再生医療の提供を目指す。

【医療と研究が一体となった取組の推進】

- 病院部門と研究部門が連携し、認知症やフレイルを併存する高齢者の医療サービスの質の向上を目指した総合的な研究を行う。
- 新型コロナウイルス感染症に対し、研究所と病院部門との積極的な連携による高度遺伝子解析技術と研究機器を活用したPCR検査を応用実施する。
- 東京大学や都立産業技術研究センター、国立長寿医療研究センターとの連携により、AI・ロボット技術等の医療現場への活用に向けた研究を推進する。
- 東京都医工連携HUB機構や板橋区と連携し、臨床ニーズ発信による医療機器開発に貢献

【認知症支援の推進に向けた取組】

- 認知症支援推進センターにおいて、医療従事者の認知症対応力向上に向けた支援として、島しょ地域及び檜原村を含む都内区市町村に対し、訪問研修や相談支援、認知症初期集中支援チームの活動支援を実施する。



【前立腺がんにおける男性ホルモン受容体の役割】



【高島平ココからステーション】

【法人運営におけるリスク管理の強化】

- 新型コロナウイルス感染症に関する患者受入れや、都の実施する宿泊療養施設運営への派遣協力、地域の医療従事者や区民に対するワクチン接種等、都や区の施策に対する最大限の協力を引き続き実施していく。

【高齢者の医療と介護を支える専門人材の育成】

- 引き続き高齢者看護エキスパート研修について公開講座とするとともに、コロナ禍にあっても地域の人材育成を進めていくため、WEBを活用した研修なども実施していく。
- 新型コロナウイルス感染症の影響により新人看護師の実習経験が乏しいことから、複数病棟をローテーションしてのOJT実施などにより、適切な人材育成を進めていく。



【高齢者看護エキスパート研修(Web開催)】

【財務内容の改善】

- 研究所と連携したPCR検査や、全自動遺伝子解析装置の活用により入院患者の迅速なスクリーニングが実施できることを活かし、救急等の入院患者の確保を進め、コロナ禍にあっても収入の減少を最小限に留めていく。
- 委託費、材料費等のコスト削減に引き続き取り組み、一層の経営改善を図る。
- 診療科別アクションプランを作成し、各診療科の特長を活かした収益改善の取組を推進する。

【地方独立行政法人の特性を生かした業務の改善・効率化】

- 新型コロナウイルス感染症への対応として、経営幹部や現場の責任者を集めた会議体を組織し、各種の検討事項に対して迅速な検討・決定を実施する。
- 新型コロナウイルス感染症の感染防止に向けた設備整備や、職員全員に対するPCR検査など、コロナ禍にあっても職員が安心して働くことのできる環境を整備する。



【宿泊療養施設の運営】